

## 強く 正しく 朗らかに

学校長 森 愛 子

4月の「ミュージック広場」では、全校児童が体育館に集まり、校歌を歌いました。私が初めてこの校歌を聞いたのは、入学式で2年生が新入生への歌のプレゼントとして、元気に歌ってくれた時ですが、高学年のきれいな歌声と合わさると、さらに曲の美しさが伝わってきました。

音楽専科の先生が、「この曲の盛り上がる場所はどこですか」と子どもたちに聞くと、「強く 正しく 朗らかに」との返答があり、「では、そこの部分が盛り上がるようにね」と声をかけると、張り切った子どもたちが、息をいっぱい吸い込んで、大きな口を開け、丁寧に歌い出しました。すると、この言葉にこめられた気持ちが伝わってくるような気がしました。

この曲は、楽譜通りに歌うと曲想がしっかりと伝わるようにできているのでしょう。「強く」のところは力強く、「正しく」のところはきっぱりとした潔さが伝わるように、そして「朗らかに」は明るく優しい感じになるような音程とリズムになっているのです。そんなことを思いながら聴いていると、これはまさしく「市沢の子」に求めたい姿であると気づきました。

「強く」 心も体も健康であること 自信と人に思いを伝える勇気をもつこと  
「正しく」 社会生活のルールを守ること 間違ったときはしっかりと謝ること  
「朗らかに」 明るさと優しさをもつこと いつも笑顔でいられること

この校歌は、創立80周年を記念して昭和35年に制定されました。作詞は第21代田中校長先生、作詞は当時鶴ヶ峰中学校の山本校長先生です。富士山が見えるという恵まれた環境から生まれ、横浜市の一校として新しい文化を取り入れ、心の豊かな人になるようにと願って作られたそうです。（創立130周年記念誌より）歌声に乗せて、詞にこめられた思いの届く、素晴らしい曲です。

強く、正しく、朗らかな市沢っ子を育てるために、学校は通常の授業以外にも、様々な取り組みをしております。「強く」については、「スポーツ広場」で多様な運動に触れる経験を積み、体を動かす楽しさを味わわせています。「正しく」に関することでは、「市沢っ子のきまり」を配付し、学校生活のルールをご家庭と共有しています。「朗らかに」については、大切に育てられ安心して過ごせるからこそ朗らかに人に接することができるのだと思いますので、すべての子どもたちが安心して過ごせる学校づくりを進めます。また、保護者の皆様との連携、地域の皆様のご協力あつての学校づくりですので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。